

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書 2014年 6月26日	
都道府県知事 (市長) 殿	
提出者 住 所 加西市鎮岩町194番地の4 氏 名 代表者 田 村 憲 司 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0790-43-1950	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	三洋電機株式会社 加西事業所
事業場の所在地	加西市鎮岩町194番地の4
計画期間	平成26年4月1日から平成27年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	2999 その他の電気機械器具製造業
② 事業の規模	生産高 419億円
③ 従業員数	1,449人 (平成26年4月時点)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
(管理体制図) 別紙のとおり	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
①現状	【前年度（ 年度）実績】
	産業廃棄物の種類
	排 出 量
	（これまでに実施した取組） 廃プラスチック（硬質・軟質）、一般廃棄物と古紙、機密書類の分別を行い有価物化。また、稼働率が10%アップした。
②計画	【目標】
	産業廃棄物の種類
	排 出 量
	（今後実施する予定の取組） 稼働率を10%アップさせ廃棄物発生量を削減する。 また、紙くずについて、分別徹底し、有価売却できるものを増やすことで産業廃棄物発生量を削減する。
産業廃棄物の分別に関する事項	
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 各部署で廃プラスチック類、紙くず（3種類）、一般廃棄物等、種類ごとに分け分別をして廃棄している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物置場では種類ごとに細かく分別して廃棄するように進める。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	対象外 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	対象外 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 状	【前年度（ 25年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	対象外 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	対象外 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	対象外
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	対象外
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		
① 現状	【前年度（ 25年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への処理委託量	+ 別紙のとおり t
	再生利用業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者への処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t t
	(これまでに実施した取組) ・発生した産業廃棄物を処理業者に委託する場合、収集運搬から処分に至るまで確認し、的確に管理。	

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	別紙のとおり		
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・引き続き的確な管理を行う。 ・処理業者との共同により、排出廃棄物のリサイクルを更に推進する。			
※事務処理欄			

備考

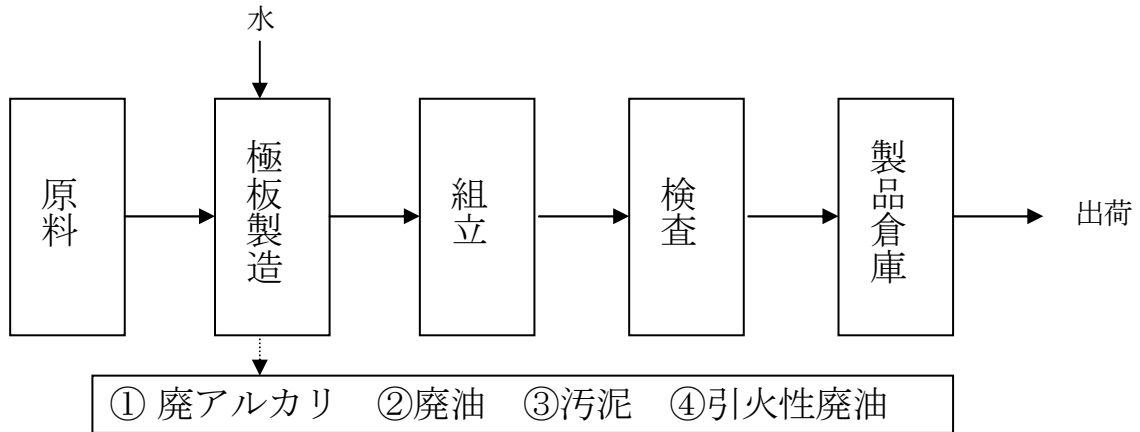
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

<別紙1/4>

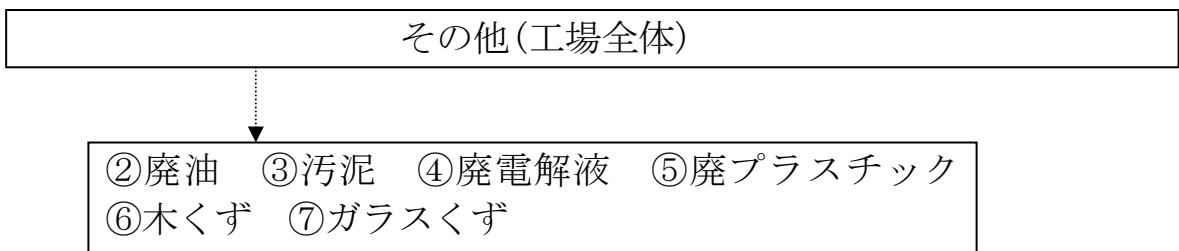
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

◇産業廃棄物の一連の処理の工程

(1) 電池製造工程



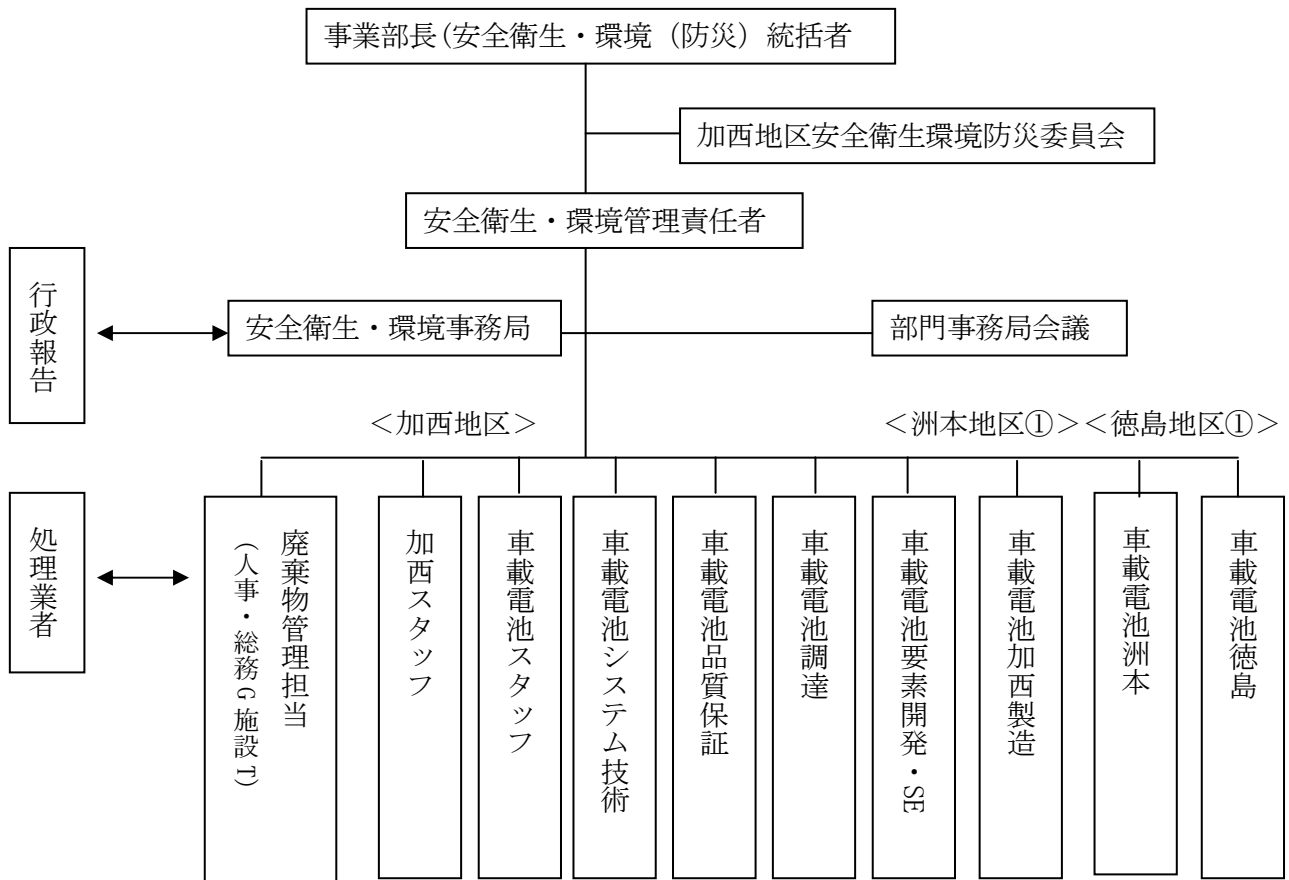
(2) その他



- ① 廃アルカリ・・・収集運搬<委託：3社>⇒処理・処分<委託：1社>⇒中和、焼却
- ② 廃油・・・収集運搬<委託：4社>⇒処理・処分<委託：2社>⇒油水分離、燃料化
- ③ 汚泥・・・収集運搬<委託：4社>⇒処理・処分<委託：2社>⇒脱水、焼却
- ④ 引火性廃油・・・収集運搬<委託：3社>⇒処理・処分<委託：1社>⇒油水分離、燃料化
- ⑤ 廃プラスチック・収集運搬<委託：2社>⇒処理・処分<委託：3社>⇒破砕、焼却
- ⑥ 木くず・・・収集運搬<委託：1社>⇒処理・処分<委託：3社>⇒破砕、焼却、チップ化
- ⑦ ガラスくず・・・収集運搬<委託：1社>⇒処理・処分<委託：3社>⇒焼却

◇産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



※分担

「安全衛生・環境管理責任者」「安全衛生・環境事務局」・・・担当：人事・総務グループ

- ・工場内のマテリアルフローの把握、統合的な廃棄物減量計画の立案
- ・工場内廃棄物処理計画等の策定、部門間の調整、行政への立案
- ・工場内の他部署への関係法令等の教育、啓発、指導監督

「廃棄物管理担当」・・・担当：人事・総務グループ 施設チーム（環境）

- ・処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き、引渡し、適正処理の確認

「製造、資材、販売、技術、研究部門」・・・担当：全部署

- ・部署内の発生産業廃棄物の発生量削減、分別、場内保管所への運搬
- ・部署内スタッフへの分別方法等の徹底

<別紙4 / 4 >

○計画 目標

産業廃棄物の種類	廃アルカリ	廃油	汚泥	引火性 廃油	廃プラス チック	木くず	ガラス・ 陶磁器く ず
全処理委託量	4504.92 t	3.456 t	6.154 t	14.08 t	72.031 t	33.53 t	0.838 t
優良認定処理事業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
再生利用業者への 処理委託量	4504.92 t	3.456	6.154 t	14.08 t	72.031 t	33.53 t	0.838 t
認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

※2014年度は生産が増えるため計画も増加します。